

平成24年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）  
追跡評価結果

研究課題名	転写メディエーターによる転写制御と生理的意義の研究
研究代表者名 (所属・職)	石井 俊輔（理化学研究所・石井分子遺伝学研究室・上席研究員）

**【評価意見】**

本研究では、生理的なシグナルに対応した転写制御の分子機構解明に、コアクティベーターやコリプレッサー等の転写メディエーターの視点から挑み、オリジナリティ溢れる研究成果を挙げた。研究期間終了後は、その研究で築き上げた研究材料・研究手法を活用してストレス応答としてのエピゲノム変化について目覚ましい研究成果を挙げている。特に、親世代におけるストレスが次世代にエピゲノム変化として伝達して行動パターンを変化させるというショウジョウバエをモデルとした発見は、新しいエピジェネティクス機構の解明として高く評価できるとともに、遺伝子発現機構の新しいパラダイムを開拓したとして、学界への貢献度は非常に大きいと評価できる。また、研究期間終了後も引き続き、本分野の国際的フロントランナーとして貢献していることは特筆できる。発表論文はいずれも着実に引用され、また、遺伝子欠損マウス、ショウジョウバエ変異体及び新規ベクター等の研究試料も広く供与されているなど、研究成果の社会的還元観点からも評価できる。本研究に関与した若手研究者の多くが現在、主体的に研究を推進する研究者として活躍しており、若手研究者の育成にも多大な貢献を果たしたと評価できる。